

読書ノート

眺めがよくなる好天の日が続いてます。しずかな午後。みんな出かけてひとりぼんやり窓の外を眺める。背の高いガマの穂やフタクサが枯れ葉色にゆれ、忘れられた柿の葉がいかにも晩秋の趣を。

●チボ一家の人々 ロゼ・マルタン・テラカール
●灰色のノート 山内義雄 訳 白水ウツクス
Book Offから救出した2冊。上下を赤とクリーム色に分けたカバーデザインは田中一光。2羽の鳥のデザインはヒコカキ。すてきな本。黄色い表紙の「チボ一家の人々」全5巻を2年かかりで読んでからはや半世紀になる。私の一番大切な本を再読したいけど活字は色あせ読みづらい。この新書版は軽くて読みやすく有難い。名訳の品のいい日本語、落ちついた語り口、作中人物がそほにいらるような一行。今も生き続けている大小説と思う。手に取ってくれる若者が今、いるのだろうか。

●沢村貞子の南大立日記 ほんぼの本 高橋みどり、黒柳徹子、山田太一ほか
編織りの和服にたすきをかけて、台所？大根の皮をむく貞子の横顔のなんて美しく楽しそうなこと。夫のために台所に立つ女の幸せがこちらにも流れてくる。女優という忙しい仕事をもつ主婦が後取りよく料理を作るため、22年間書き続けた南大立日記。忙しいから、素人だから、疲れたからと言、諷刺する私を恥づかしいと思う。高峰秀子も日々精進して、愛する人との食卓を大切に。87年の生涯を生きた。食卓は大事と私も思っています……。あと片付けはネムも娘たちも夫がとてもしず！任せてます。

11/22 娘たちと倉敷へ、「わたしの小さな古本屋」の鞆文庫へも寄りました。あの本好評。完売らしくよかったね。

散歩道に山茶花が咲き



大根薬



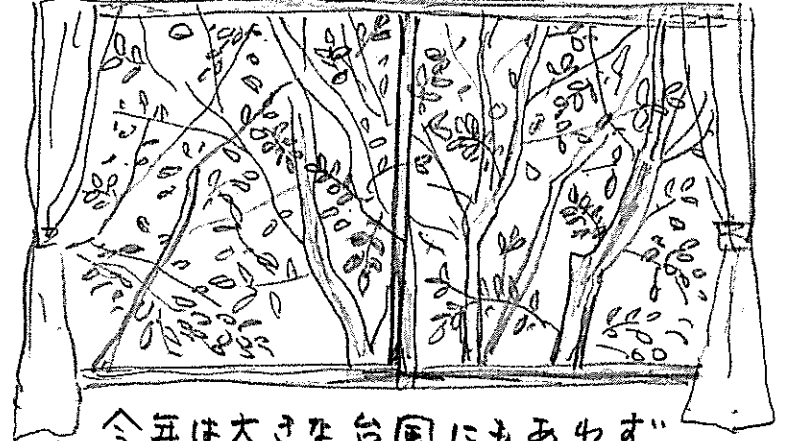
山本ふみこさんの「朝ごはんからはじまる」にあった佃煮風総菜。大根の葉もきろんと使おう。酒の肴、ごはん白粥弁当にもよしの一品です。

- 葉っぱをよく洗いあらいみじん切り。
 - 500gに対し塩小さじ1をよく混ぜる。
 - ボウルに入れ重しをして一晩おく。
 - よくしぼりサウター油(ごま油)で火かけ。
 - シロウカ線切りゆを加える。以上！
- 私は粗みじんに切ってすぐ火かけ。花かつおのしぼり、ごま、タカの爪を入れみりん少々はゆで。GORIさんエレエレ食べ

けやき通信 2013年11月 No.245号

— 錦織佳代子 —

庭のケヤキは黄色く色づいて



今年は大きな台風にもあわす。葉が沢山残って、寝室の窓はつぼい黄色い葉がゆれ、部屋の中も明るいのです。ベッドに寝こんで本を読むしあわせ〜。

あんなに雨の日も雪の日も外遊び！フット付ウエ？



フランドから里帰りの孫一家 滞在中 近くの唐子浜へ連れいくと波打ちざわを かけまわり ぽかぽかおあぐんと ぽかぽかおあぐんと はたかんぽに！

11/2 倉敷から今年も新米と手作り味噌ももって 藤原夫妻が来てくれました。味もよかった。 ちよさんのおきなブック 毎年車で東北の旅 東京ではイタリア製高級布で手作りの「昼間の家」という意味は？ 夫婦別行動の日を はじめた？ しゃべりますね

フランドで8月から幼稚園へ行きだして 会話のほとんどがフランド語になったそう。でも今治のちよえんに1週間ほどおわがいて しゃべらばバス？通園。日本語でしゃべる。しゃべるすじいね。 絵本もいっぱい楽しんで？ お気にいり

